

平 成 2 7 年 第 2 回

当別町教育委員会定例会議事
要約版

当別町教育委員会

第2回 当別町教育委員会定例会議事（要約版）

日 時 平成27年2月18日(水) 午後3時30分

場 所 役場3階中会議室

出席委員

委員長	白井 応隆
委員	武岡 和廣
委員	寺田 郷子
委員	小林 泰雄
委員	本庄 幸賢

参 与

教育部長	野村 雅史
管理課長	山崎 一
管理課主幹	水谷 純
総務係長	村上 賢二
学校教育係長	高島 忠義
学校教育係主査	高田 一魅
一貫教育推進係長	櫻田 克
社会教育課長	長谷川 敏
社会教育課参事	山田 敏行
社会教育課主幹（社会教育担当）	小出 真二
社会教育課主幹（スポーツ振興担当）	須藤 豪
学校給食センター長	森田 弥寿彦
給食係長	春田 秀彦

傍聴者 1名

議 事	日程第1 協議案第1号
案件名	平成26年度教育費3月補正予算について
説 明	<p>本補正予算は、教育費の歳入において143万7千円を減額し、その総額を3,978万円に、歳出において繰越明許となる総務費の教育関係分1,447万8千円を増額し、教育費874万6千円を減額し、それらを合わせた総額を4億3,076万4千円にしようとするものであります。</p>
質 疑	<p>小林委員： 除雪費の増加ですが、集中的に雪が降ったからということであると思うのですが、小学校や中学校は避難所としても扱われていると思います。大雪が降ったときは雪が滞留してしまっていて、避難するに値しないくらいですが、除雪をする時には、車が何台駐車できるぐらいにスペースを確保しているのか。総合体育館なども含めた避難所としては、何台分の駐車スペースを確保するのか明確にしておいた方がいいと思います。または、そういった基準を既に持っていれば、教えていただきたい。</p> <p>社会教育課長： 明確な基準は持ち合わせていないが、避難場所になっていることや、冬季にも大きな大会が開催されることもあるので100台前後が置けるような配慮はして除雪をしている。西当別コミセンは、葬儀場としても活用されますので、第2駐車場も含め50台くらい確保しております。</p> <p>管理課長： 現在は職員用の駐車スペースの確保をしている。随時巡視しながら、駐車スペースの確保に努める。</p> <p>小林委員： 防災・減災を配慮し、通学路の除雪を含めた予算確保を進めてもらいたいという意見です。</p>
採 決	原案のとおり了解

議 事	日程第2 協議案第2号
案件名	平成27年度当別町教育行政執行方針について
説 明	平成27年度当別町教育行政執行方針を別冊のとおり決定しようとするものであります。
質 疑	寺田委員： 道徳について、国から道徳教育が下りてきているので当別町としても取組むということなのでしょうが、『道徳については、道徳の授業を要とし「学校での教育活動すべてが道徳教育である」という考えに基づき指導にあたるよう、』は、私の感覚では少し強い表現だと感じた。 方針の内容については、これでいいと思う。
採 決	原案のとおり了解

議 事	日程第3 協議案第3号
案件名	平成27年度教育費当初予算について
説 明	平成27年度教育費当初予算は、歳入の総額を1,882万3千円に、歳出の総額を4億4,384万円にしようとするものであります。
質 疑	<p>武岡委員： 学校を核とした地域力強化プラン事業は、学校支援地域本部事業の活動、放課後学習会、土曜学習会等、子どもたちの教育活動に絞って予算計上している。</p> <p>子どもの少子化が進んでいる、一人親世帯が増えている、三世帯同居が減少している等の当別の現状から、小中一貫校にして学校を核にして街づくりをしたいと考えたときに、社会性の涵養、世代間の結びつきを強くするようなお金の使い方はできないのかというのが、私の意見です。そういった観点から予算の執行の観点を見直していただきたい。</p> <p>私立幼稚園就園奨励費に関して、幼稚園から委員会への報告義務としてどのようなものがあるのか、教えていただきたい。</p> <p>西当別と当別に分かれている保育園と幼稚園にどの程度の予算配当がなされているのか、子どもたちには不公平感はないのか、分かる範囲で子どもたち一人当たりの予算を教えていただきたい。</p> <p>管理課長： 私立幼稚園の補助の算定に当たっては、保護者の所得に応じて町が保育料を補助するという仕組みになっている。幼稚園の教育内容の報告を求めているものではない。それとは別に、幼稚園の教育内容が分かるものが教育委員会にあれば、後ほどご提示をさせていただきたい。</p> <p>武岡委員： 読書環境について述べられていますが、この中で、読書週間の定着が図られるよう幼稚園や保育所、各小中学校と連携を取りながら取組んでまいりたいと書いている。保育所、幼稚園段階での読書環境というのは非常に重要です。</p> <p>一生を決めるくらい大事なところなので、そういった活</p>

	<p>動を充実させていただけるよう、町にも強く働きかけをしていただければと思います。</p> <p>委員長： 武岡委員の意見については、役場部局とも連携をとって図書活動の充実につながるように、教育委員会から働きかけをしていければということです、よろしく願いいたします。</p> <p>寺田委員： 学校を核とした地域力強化プラン事業の事業費は、国・道・町が3分の1を負担するとなっていますが、歳出予算額に掲載されているのは、その内当別町の負担額という意味でしょうか。</p> <p>社会教育課長： ここに示している額については、事業費の総額です。</p> <p>小林委員： 高齢者が生きる地域しごと支援事業は、若者への技能伝承となっていますが、具体的にはどのような技能伝承を想定されているのか教えていただきたい。</p> <p>社会教育課長： 想定している取組は、造園活動、陶芸活動です。</p> <p>小林委員： この技能伝承が若者の地元定着に繋がるということなので、どのようなことを想定しているのか知りたかったので質問をさせていただきました。</p> <p>武岡委員： 教職員の研修費について、各学校には道費負担としてどの程度のお金が配分されているのか、分かれば教えていただきたい。</p> <p>管理課長： 今、配分額がいくらであるのか資料を持ち合わせていないので、後ほどお示しいたします。</p> <p>武岡委員： 教育行政執行方針に教員研修について書かれております。道からは、大きなお金は出てこないものと思います。ただ、小中一貫教育を進めるに当たって、また、先生方にやる気をもっていただけるように、町から負担をいただけるようにすると、先生方もさらに一生懸命子どもたちを指導をしていただけるものと思います。道内研修費や職員用図書の整備も含まれると思いますが、そういうところで、しっかり考えてあげられる教育委員会でありたいと思いますので、よろしく願いします。</p>
採 決	原案のとおり了解